

シンポジウム福岡開催ご案内
テーマ：構造設計者の使命・目標・責任に関する討論会
－ 提言「建築の構造設計—そのあるべき姿」－

NPO法人建築技術支援協会は、ベテランから若い人、専門家から一般の人への正しい建築技術の橋渡し役を務めてきました。このたび、構造技術者の討論を支援することを目的に、建築学会から発行された「建築の構造設計—そのあるべき姿」をテキストとして表題のテーマにより全国各地でシンポジウム・パネルディスカッションを行うものです。

耐震偽装問題発生から5年が過ぎ、建築基準法の改正、建築士法の改正が行われ法体系は整備されましたが、最も重要な、構造技術者自らの、使命・目標・責任等についてたがいに議論する場がないままにきています。建築学会のこのテキストはこれらを考えるに由来するテキストです。

主催：NPO法人 建築技術支援協会（略称：サーツPSATS）

共催：(財)福岡県建築住宅センター、(社)日本建築構造技術者協会（JSCA）九州支部

後援：(社)日本建築学会九州支部

*このシンポジウムは(財)建築技術普及センターの普及事業助成によるものです

日時：2011年2月25日（金）、午後1時30分～5時30分（4時間）

会場：[都久志会館](#) 福岡市中央区天神4-8-10（TEL092-741-3335）

－ シンポジウムの内容 －

司会	NPO建築技術支援協会	
1) 挨拶		10分
	和田 章 東京工業大学教授	
2) 提言「建築の構造設計—そのあるべき姿」について		45分
	高山峯夫 福岡大学教授	
3) 提言について考える		
3-1) 教育研究者の立場から		30分
	「実務出身の教員として学生に伝えていることから」	
	蛭川 利彦 九州大学教授	
	————— 休憩 —————	10分
3-2) 設計者の立場から		30分
	「設計例から提言を考える」	
	許斐 信三 JSCA顧問（日本設計）	
3-3) 構造計算適合性判定機関の立場から		30分
	「設計者の技量と構造設計の多様性」	
	福嶋 康博 (財)福岡県建築住宅センター構造判定部判定統括監	
3-4) JSCAの立場から		30分
	「構造設計の役割・職能・その目指すもの」	
	尾宮洋一 JSCA九州支部長(鹿島建設)	
	————— 休憩 —————	10分
4) パネルディスカッション		45分
	全員で活発な討論・意見交換	

参加費：無料

テキスト：「建築の構造設計—そのあるべき姿」（建築学会）定価1200円（税込割引価格）会場で販売します
テキストを既にお持ちの方はご持参ください

本講習は（社）日本建築構造技術者協会のJSCA建築構造士登録更新の評価点対象講習会です
また、建築CPD情報提供制度の認定プログラムです

[参加申込み](#)